



森下は、甲賀の藤本監督から連絡を頂き「箕島高校出身の森下が地元  
に帰りたいので是非お願いします」と連絡を頂き、セレクションに参加  
するのですが「肩の脱臼でプレーが出来ない状態」で参加と疑問が残る  
も、その前に行ったOP戦での活躍や甲賀の嶋田コーチから原井コーチ  
へ「守備は間違いないです。きっと役に立ちます」また同級生の高川進  
からも「高校時代から、走攻守は飛び抜けていました」とたたみかける  
ように説得？されたのを思い出します。

入部後は、やはり打つ時のタイミングの取り方が下手で、手古摺って  
いましたが、途中から平井徹に師事し、雨天練習場での特打、ティ打撃  
にとマンツーマンで指導を受けた結果、タイミングの取り方が向上し、  
近畿クラブ会長杯では、本塁打を含む3安打で2塁打が出ればサイクル  
安打達成と、この大会では、打撃賞も授与され、新人ながら3割4分の好  
打率を残し、また得意の守備では、びわこ杯のミキハウス戦で見たダ  
イビングキャッチでの好守備で、川島マネージャーが絶賛して、初めて  
の「川島賞」をゲットしていましたね。

打撃は、師匠平井の引退が影響したのか、2年目2割5分6厘、3年目  
の今年は1割8分2厘と年々右肩下がりにりましたが、代わりに守備範  
囲は年々広くなり、歴代の中でも、住金から来た中西や中川、山下、浦川  
といった名手と言われた外野手と比べても頭一つ抜ける「脅威の守備  
範囲で、歴代NO1の外野手」と言っても過言ではないと思います。

また巷では、「おしゃれ番長」と言われてるみたいで、野球道具はも  
ちろん、着る服やカバンにもこだわりを持っていて、迷彩柄や原色をも  
かっこよく「着こなすセンス」があると聞いています。

高校の後輩でもある、森下が引退するのは少し寂しいですが、今後は  
『歴代NO1の守備範囲』を活かして、幅広く卒なく仕事をこなし  
て下さい。

3年間ご苦労様でした。



「脅威の守備範囲」

森下雄斗選手

(平成28年入部)